

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第1区分

【発行日】平成28年1月14日(2016.1.14)

【公開番号】特開2015-400(P2015-400A)

【公開日】平成27年1月5日(2015.1.5)

【年通号数】公開・登録公報2015-001

【出願番号】特願2013-127869(P2013-127869)

【国際特許分類】

C 02 F 3/34 (2006.01)

C 02 F 3/28 (2006.01)

【F I】

C 02 F 3/34 1 0 1 A

C 02 F 3/34 1 0 1 D

C 02 F 3/34 1 0 1 B

C 02 F 3/34 1 0 1 C

C 02 F 3/28 A

C 02 F 3/28 B

【手続補正書】

【提出日】平成27年11月17日(2015.11.17)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

酸化態窒素含有水を、生物付着担体が充填された充填層を有する固定床方式の脱窒部で脱窒処理する方法において、前記充填層内で脱窒反応によって発生し、該充填層から流出した窒素ガスを充填層下部に注入することによって充填層内部に滞留するガスを充填層から抜くことを含む方法。

【請求項2】

充填層下部への窒素ガスの注入が、充填層内のガス滞留蓄積と相關のある対象を監視して、その検出値に基づいてなされる請求項1に記載の方法。

【請求項3】

酸化態窒素含有水を脱窒するための生物付着担体が充填された充填層を有する固定床方式の脱窒部を備えた脱窒装置であって、前記充填層内で脱窒反応によって発生し、該充填層から流出した窒素ガスを充填層下部に注入するための移送手段を有する脱窒装置。

【請求項4】

前記脱窒部は充填層の上方に気相部を備え、前記移送手段は気相部にある窒素ガスを引き抜いて充填層下部に注入する請求項3に記載の脱窒装置。

【請求項5】

前記移送手段による前記窒素ガスの注入量を規定する因子を制御するための制御部と、充填層内のガス滞留蓄積と相關のある対象を監視するための検出手段とを有し、制御部は検出手段によって検出した検出値に基づいて前記因子に対して前記窒素ガスの注入量を変化させるように指示する請求項3又は4に記載の脱窒装置。

【請求項6】

前記移送手段が圧縮ガス貯留タンクを備える請求項3～5の何れか一項に記載の脱窒装置。